用　　途	研究員宿舎
種　　類	建物
場　　所	沖縄県国頭郡国頭村
帳簿価額	4,166,914円
認められた減損の兆候の概要	当該施設は、熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設の研究者用の宿舎として設置されたが、今年度は入居者がいない。
複数の固定資産を一体として判断した場合は概要とその理由	該当なし
減損を認識しなかった根拠	今年度については、入居者がいないものの引き続き使用していくことから、琉球大学減損会計処理要領第11条第１号に該当しないため。

用　　途	上原キャンパス病院、医学部跡地
種　　類	土地、建物、構築物
場　　所	沖縄県西原町
帳簿価額	土地　2,920,000,000円　建物　1,787,586,638円
	構築物　97,130,190円　リース建物　381,085,527円
認められた減損の兆候の概要	上原キャンパスの病院及び医学部が西普天間キャンパスに移転したため、移転後の跡地利用については検討の段階であるものの、使用実態からは大きく変化することが想定される。
複数の固定資産を一体として判断した場合は概要とその理由	建物に付随する資産を一体として判断した。
減損を認識しなかった根拠	跡地利用について検討の段階であり、琉球大学減損会計処理要領第11条第１号に該当しないため。

用　　途	術中ＭＲＩ装置
種　　類	工具器具備品
場　　所	沖縄県宜野湾市
帳簿価額	411,159,377円
認められた減損の兆候の概要	令和７年度、電気系統の不具合により物品の稼働がなかったため
複数の固定資産を一体として判断した場合は概要とその理由	該当なし
減損を認識しなかった根拠	令和８年３月の改修で、次年度以降は当初予定の稼働が想定されるため、琉球大学減損会計処理要領第11条第１項第１号に該当しないため。

３　翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した固定資産

該当事項はありません。

Ⅶ　資産除去債務

１．資産除去債務の内容	石綿障害予防規則等に基づく建物のアスベスト除去及び、放射性同位元素等による放射線障害防止に関する法律に基づく放射化物の処分に要する費用	
２．支出発生までの見込期間適用した割引率等の前提条件	見込期間	会計基準適用事業年度期首時点における対象資産の残存耐用年数
	割引率	会計基準適用事業年度末時点の国債のレートをもとに、残存耐用年数に応じて補間した割引率
３．資産除去債務の総額の期中における増減内容	期首残高	266,502,847円
	資産の取得に伴う増加額	—円
	時の経過による増加額	3,379,244円
	資産除去債務履行による減少額	—円
	期末残高	269,882,091円

Ⅷ　重要な債務負担行為

件　　名	契　約　金　額	うち翌期以降支払額
５軸制御立形マシニングセンター	66,113,602円	66,113,602円
琉球大学教育学部附属学校調理等委託業務	140,580,000円	140,580,000円
医療用サイクロトロンの解体及び撤去を含む放射性同位元素等の規制に関する法律上の管理区域解除業務	174,900,000円	174,900,000円
琉球大学医学部及び病院清掃業務	166,135,200円	166,135,200円
ＭＲＩ装置ＭＲ7700　保守	184,338,000円	175,560,000円
小型サイクロトロンおよびＲＩ合成システム保守契約	54,120,000円	50,512,000円